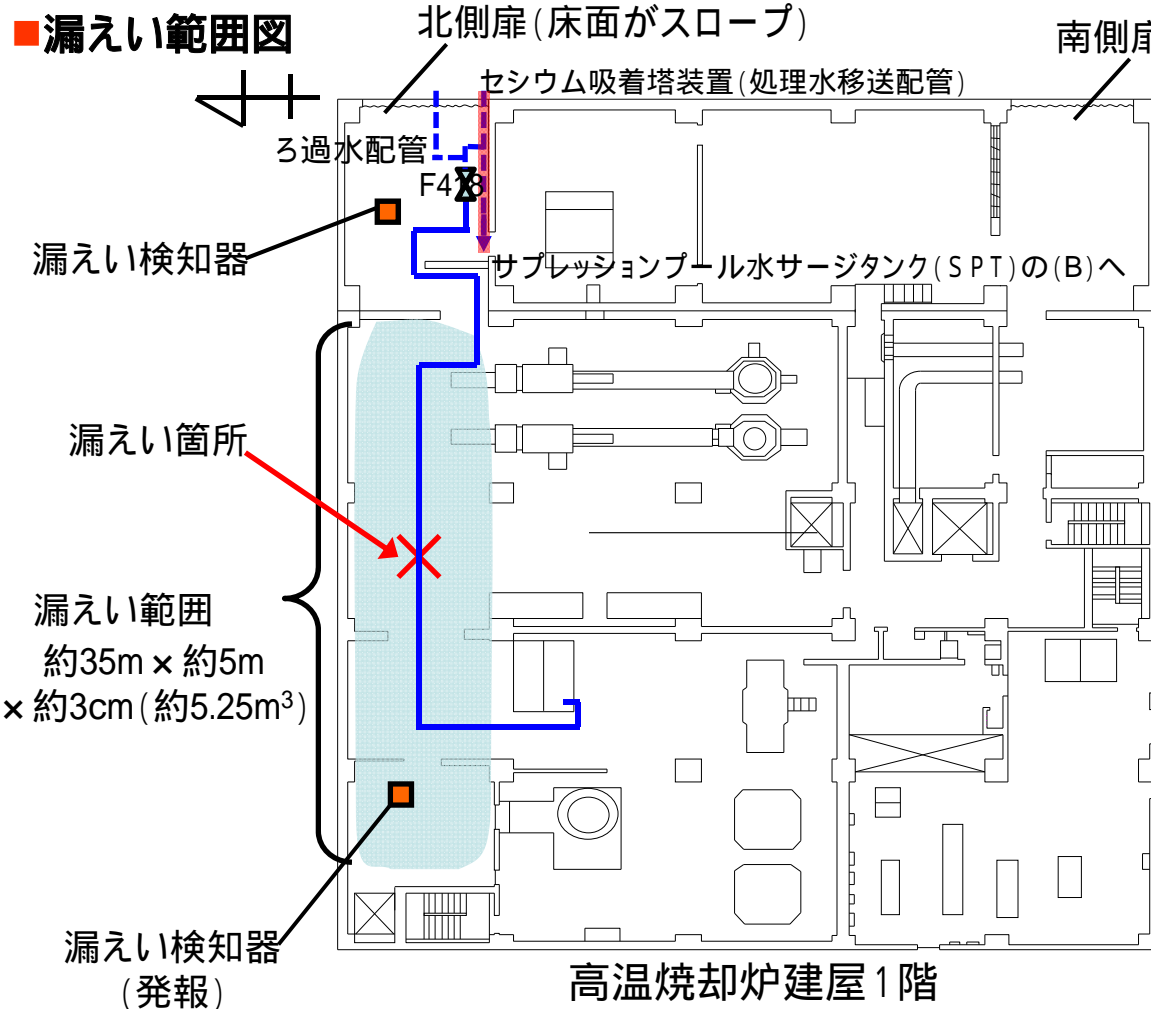


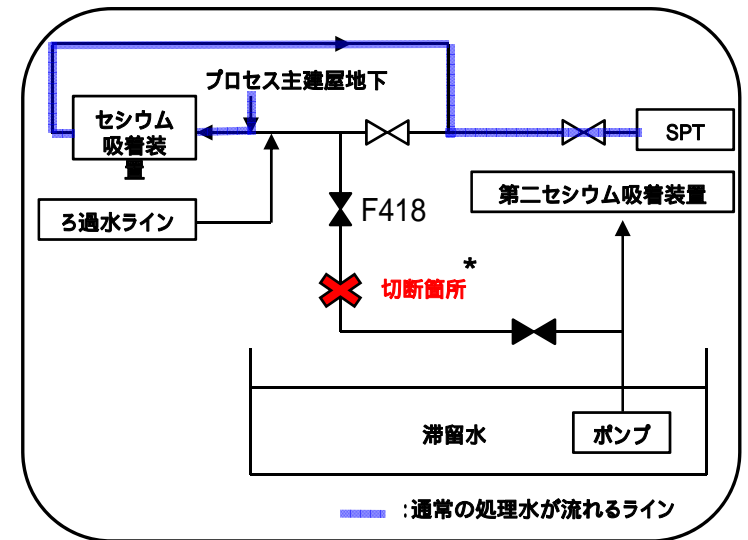
# 高温焼却炉建屋内における堰内漏えいについて(続報)

- **推定原因:** セシウム吸着装置に接続されている配管(工事中のため切断された状態)の上流に設置されている弁が開いている状態でセシウム吸着装置を起動したため、当該系統の内包水が流出したものと推定。(内包水:起動直後であり、装置内の水張水と処理水が混合)



—: 通常の処理水が流れるライン  
 —: 漏えいが発生させた接続ライン

今回漏えいした場所は、床面がスロープ状になっており水が漏えいした場合でも建屋内に留まる構造。



\* 当該作業は設備改造のため実施計画変更認可申請中

- **対策:** 切断した配管は、溶着させ、切断前の状態に復旧。なお、上流側のF418弁は、念のため、チェーンロックにより閉で固定している。今後、原因の詳細調査を行い、再発防止対策を検討していく。